



暑さがやわらぎ、外遊びの時間が増えてくると、小さなけがも多くなります。9月9日は『救急の日』です。この機会におうちの救急用品の中身を見直したり、応急処置の方法も学んでおきましょう。

これで安心！

## ちょっとした けがのケア

元気な子どもは小さなすり傷や切り傷が得意なものです。化のうさせずに治す方法を知っておきましょう。



ウェットタイプの絆創膏は  
使い方をチェック！

モイストタイプ（ハイドロコロイド素材）の絆創膏は、2歳以下の子どもには使えません。使用上の注意を守ってつかいましょう。

### ①手当てする大人がまず手を洗う

手から汚れがうつるのを防ぎます。

### ②傷口を流水で洗う

流水で傷口をやさしく洗い、泥や砂などを取り除きます。とげなどが刺さっているときは、毛抜きで抜き取ってから流水で傷を洗いましょう。

### ③傷口を保護する

絆創膏やガーゼなどで傷口を覆います。絆創膏は毎日交換して、傷の治り具合をチェックしましょう。

傷口の汚れやとげなどが取り除けない、傷がなかなか治らないときは、病院へ！

## はとぼっぼからのお願い

- 持ち物にはすべてに名前を書いてください（紙おむつにも）
- 私物のおもちゃ、絵本は紛失の恐れがあるので持ち込みは最小限にしてください。
- 口内炎などで食事が取れない場合はゼリーやプリンなど食べられそうなものをお持ちください。

## 子どもの事故を防ぐヒントは「ヒヤッと」にあり！

子どもがけがをしそうで「ヒヤッとした」ときこそ、次の事故を防ぐチャンスです。「無事でよかった」とすませるのではなく、なぜヒヤッとしたのか見直しましょう。

### ①「ダメ！」「危ない！」は、そこが危険のサイン

子どもをしかって制止するよりも、ものの置き場所をかえるなど、子どもが安全に過ごせるよう環境を整えましょう。



### ②一度あれば二度、二度あることは三度ある

危ないと思ったら、必ず理由や経緯を考えましょう。原因がわかれば対策がとれます。対策をしないと、大きな事故につながる危険がそのままに。

### ③大人も一緒にやってみる

子どもが過ごす場所が安全かどうか、子どもの目の高さでチェックしてみましょう。遊具やおもちゃは、いっしょに遊んで正しい使い方を示します。



	利用人数 100人 (7/15～8/15)
病 気	上気道炎
	ウイルス性胃腸炎
	手足口病
	アデノウイルス
	マイコプラズマ肺炎
	水痘

はとぼっぼのご利用は、まず電話でご予約をお願いします。

☆受付時間：平日 8時～18時 土曜日 8時～11時30分

☆翌日利用の予約：16時半～18時 ☎はとぼっぼ直通電話 087-835-2065